



## 2016年 ボウリングマガジン2月号

DHCカップPBAインビテーショナル  
大会開催の予告記事が  
掲載されました。

### PBA代表選手名鑑

<b>Chris Barnes</b> クリス・バーンス ①1970年2月25日 (45歳) ②テキサス州ダラス ③右 ④1998年 (3)4勝 ⑤53回 ⑥\$2,208,156 ※に所属するPBAツアーの申し手は昨年の大会で初の王者。準決勝では3000点達成した。近年はアメリカとともにもJDRF (国際がん研究協会) のチャリティ活動も積極的に行っている。	<b>Dom Barrett</b> ドム・バレット ①1965年7月30日 (50歳) ②イングランド・エセックス ③左 ④2010年 (3)4勝 ⑤13回 ⑥\$404,593 ⑦株式会社のトレーナーとしてプロボウラーに、欧州、中央、アジアと場所を渡り、PBAツアーにも参戦。2014年ワールドチャンピオンシップで初のメジャータイトル。2015年はU.S.オープンで優勝。	<b>Parker Bohn III</b> パーカー・ボーン3世 ①1963年7月13日 (52歳) ②ニュージャージー州ニューブランズウィック ③左 ④1984年 (3)4勝 ⑤104回 ⑥\$3,018,810 ⑦神レフトは、この2年、シニアツアーを兼ねながらナショナルツアーでも活躍。2015年はPBAブレイクダウンオープンで優勝し、34勝目をマーク。マーク・ロスと並ぶ歴代5位タイにその名を残した。
<b>Ryan Ciminelli</b> ライアン・シミネリ ①1985年3月7日 (29歳) ②ニューヨーク州サトウゴロウ ③左 ④2007年 (3)4勝 ⑤8回 ⑥\$408,049 ⑦参戦するツアー・ゾーンを巡って活躍したいという希望。2015年はエクストラプレーン・サウスポイントオープンで3連覇。USオープンでドム・バレットに勝って初のメジャータイトルを獲得した。	<b>Norm Duke</b> ノーム・デューク ①1964年3月25日 (51歳) ②フロリダ州ウェルビー ③右 ④1982年 (3)3勝 ⑤64回 ⑥\$3,207,466 ⑦卓越したアジャスタリング能力で日本にも多くの観衆のファンを持ち、自らも賞金を稼ぐ。毎日、シニアツアーにも参戦。2015年はウェス・マロウと組んでロス&キルマン・ダブルスを制覇。	<b>Amleto Monacelli</b> アムレト・モナチェリ ①1961年5月27日 (54歳) ②イタリア・トリノ ③右 ④1982年 (3)19勝 ⑤50回 ⑥\$2,382,512 ⑦イタリア、スペイン、イタリアを自国に跨る国際。1987年のジャンシヤック杯で初優勝。大活躍の中心として日本のツアーにも大きな影響を与えた。近年は主にシニアツアーで活躍中。
<b>Bill O'Neill</b> ビル・オニール ①1961年10月21日 (54歳) ②ワシントン州シアトル ③左 ④2005年 (3)7勝 ⑤23回 ⑥\$789,545 ⑦チームUSAメンバーからプロ入り。1年目で新人賞に輝くなど順調なキャリアを歩むPBAのエリート。2015年もオクラホマオープンVなど2勝をマーク。人望も高く、PBAの選手会長を務める。	<b>Sean Rash</b> シヨーン・ラッシュ ①1968年8月22日 (53歳) ②カリフォルニア州メンモナッシュ ③右 ④2005年 (3)9勝 ⑤33回 ⑥\$1,035,126 ⑦アラスカ出身のタイシゲイは、2015年もファンを魅了。アイオワ・ミッドウェストオープンで9勝目を飾ると、トーナメントオープン選手権では3連覇から史上初となる2度目のTV決勝300点達成した。	<b>Ronnie Russell</b> ロニー・ラッセル ①1979年12月22日 (55歳) ②インディアナ州マリオン ③右 ④2003年 (3)7勝 ⑤14回 ⑥\$451,852 ⑦2011年10月の2013年、33歳で初タイトルを手にした若手。2015年はジャンパーオープンで3勝目をマーク。PBAブレイクダウンオープン選手権にも参戦。パーカー・ボーンとの激戦りで男を上げた。
<b>Ryan Shafer</b> ライアン・シェファー ①1966年5月18日 (49歳) ②ニューヨーク州ホースヘヴス ③左 ④1996年 (3)5勝 ⑤55回 ⑥\$1,703,415 ⑦19歳の頃に脳膜炎を患い、闘病生活を続けながらプロボウラーとして活動。2年目の1987年新人賞に輝く。2000年に優勝した初タイトルを獲得。2015年、12年ぶりのツアー優勝で第一線の復活を遂げた。	<b>John Szczerbinski</b> ジョン・ズチェルビンスキ ①1988年8月15日 (27歳) ②ニューヨーク州ウェストフランド ③右 ④2010年 (3)9勝 ⑤3回 ⑥\$1,022,775 ⑦ボウリングの才能、カンザス州のウィチタ州立大学、最も偉大なボウラーは大学の先輩でもあるクリス・バーンス。プロ6年目の2015年はオクラホマオープン10位が最高位。経費コンサルタントの資格を持つ。	<b>Walter Ray Williams Jr.</b> ウォルター・レイ・ウィリアムズJr. ①1959年10月6日 (56歳) ②フロリダ州オックスフォード ③右 ④1980年 (3)47勝 ⑤161回 ⑥\$4,491,201 ⑦史上最多の47勝を誇るグレート。2008/10シーズンのマスターズで優勝。優勝からは退きつつあるが、2015年は2年ぶりTV決勝進出で健在を証明。優勝後でも度々賞レースになり、ゴルフもハンダグ3とプロ。
<b>Aaron Lorincz</b> アロン・ロリンズ ①1989年10月4日 (26歳) ②ミシガン州サニー ③右 ④2014年 (3)3勝 ⑤0回 ⑦参加男子の中で最年少の26歳。無名の存在ながら予選で活躍し、決勝を獲った。公式戦のタイトルはまだなく、PBAツアーでの最高成績はアマチュア時代の2013年/ジャンパーオープン3位。	<b>Liz Johnson</b> リス・ジョンソン ①1974年2月2日 (41歳) ②ニューヨーク州サトウゴロウ ③右 ④2005年 (3)2勝 ⑤8回 ⑥\$200,979 ⑦昨年の大大会では女子で唯一TV決勝進出 (4位)。12年ぶりに復活した米女子ツアー。PWBAではメジャー級を含む5勝を挙げてMVPにも輝いた第一人者。PWBA通算14勝。PBAにも参戦して女子ツアー2勝。	<b>Danielle Mcewan</b> ダニエル・マッキューワン ①1991年9月1日 (24歳) ②ニューヨーク州オースティン ③右 ④2015年 (PWBA) ⑤31回 ⑥PWBA ⑦シニア時代からトップに立ち、チームUSAのメンバーとして活躍。昨年のPWBAツアーでは最終日のメジャー大会、ブレイクダウンオープン選手権を制して、見事ニューヒロイン誕生の期待に応えた。

## 世界最強PBA、再び来襲

### JPBAの参戦も決定！さらなる熱闘の予感

**DHC PBA JAPAN INVITATIONAL W2016**

●KPBA代表選手  
●日本代表選手  
●日本代表選手  
●日本代表選手  
●日本代表選手  
●日本代表選手

●会場  
東京ポートボウル  
東京都港区芝浦1-13-10  
JR有明駅・芝浦口(徒歩7分)

●日程  
▶1月15日(金)10時30分～  
32名抽選対ラウンドロビン予選前半16G  
▶1月16日(土)10時30分～  
32名抽選対ラウンドロビン予選後半16G  
▶1月17日(日)11時～  
決勝スタジアムラダー(5名)

●15日・16日は観戦無料。17日のTV放送はVIP席のみ有料(5000円)で放送。ドリンク・サイン入りボール・優勝者や特別賞の特典あり。VIP席の客室にはシニアボウリングプロモーションのホームウェアからお申し込みください。

●ジャパンボウリングプロモーション  
TEL 04-2934-4142 FAX 04-2934-7155  
http://www.japanbowlingpromotion.com